

図 6.2.1 打込み杭と埋込み杭の先端荷重-沈下関係の相違^{6.1,10}

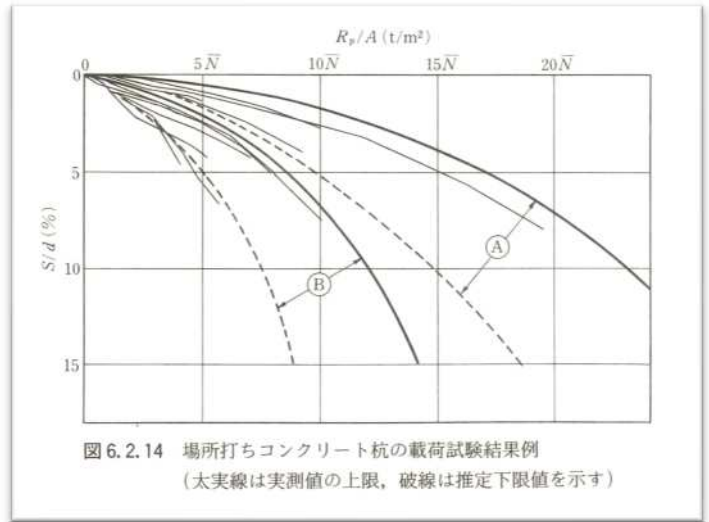


図 6.2.14 場所打ちコンクリート杭の載荷試験結果例
(太実線は実測値の上限、破線は推定下限値を示す)

表 2 各文献の係数 α と n の比較

曲線の種類	α	$1-\alpha$	n
BCS 砂礫	0.12	0.88	3.31
BCS 砂	0.23	0.77	2.70
山肩ほか	0.27	0.73	2.27
2001 基礎指針	0.3	0.7	2

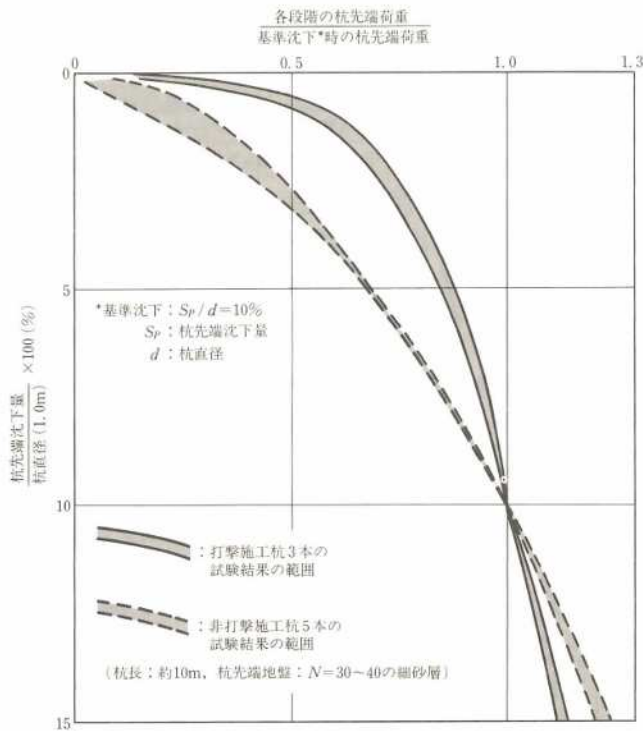


図 1.4.14 施工法による荷重-沈下量曲線の相違^{1.4.12)}

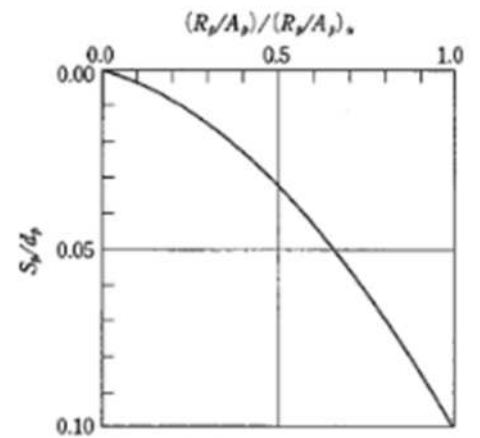
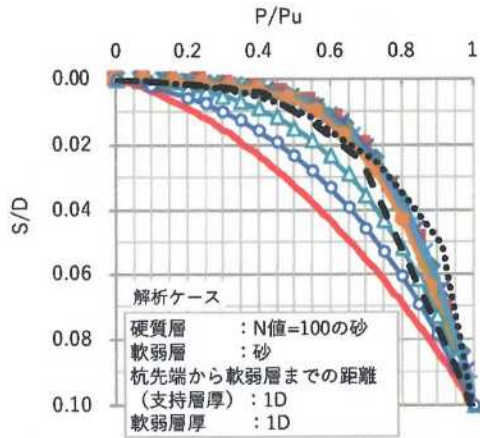


図 6.4.4 杭の先端抵抗～先端変位関係のモデル化



S : 沈下量, D : 杭径, P : 荷重度,
 Pu : 極限支持力度 (杭径の10%の沈下を生じたときの荷重度)

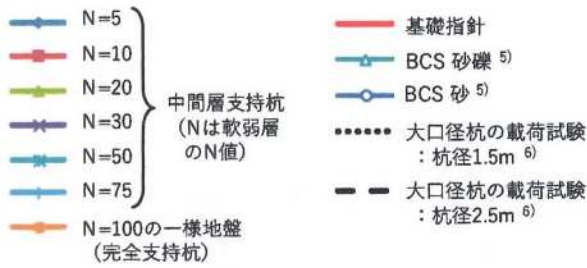


図5 杭先端の正規化した荷重～沈下曲線

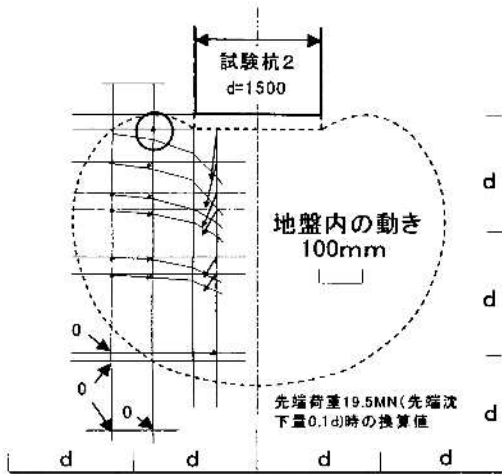


図-17 試験杭2の杭先端付近での地盤の動き

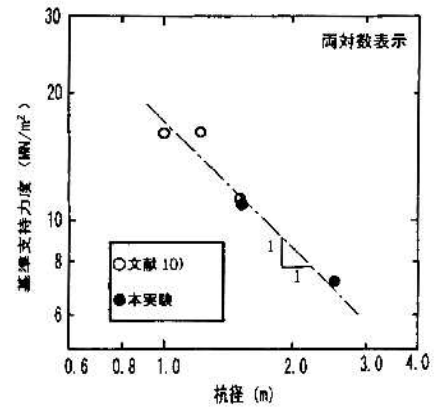


図-19 杭径と基準支持力度